

第32回原状回復対策協議会(11月15日開催)協議結果について

1. 廃油入りドラム缶が新たに発見されたことに対する対応について

- (1) 平成20年8月1日から9月11日にかけて掘り出したドラム缶337本は、その内容物が漏れ出さないように特殊なドラム缶に入れ、場内で安全に保管しています。なお、ドラム缶の処分は、内容物の成分分析を行い、分析結果に基づき産業廃棄物処分業者に処分委託する予定です。
- (2) 平成12年の土壌ガス濃度調査で、高濃度のVOC汚染が確認されているG地区及びJ地区については来年度掘削調査を実施する予定です。
- (3) 今後、重要な情報が生じたときには、関係市町と連携して地元住民の皆様への迅速な情報提供を行い一層の情報共有を図ることとします。

2. 汚染土壌対策の進捗状態について

- (1) N地区における不飽和帯(地下水位より上の区域)の土壌汚染を除去するホットソイル工については、11月中に施工が終了しました。
- (2) 11月10日に開催された第7回土壌汚染対策技術検討委員会の協議事項として次の事項を報告しました。

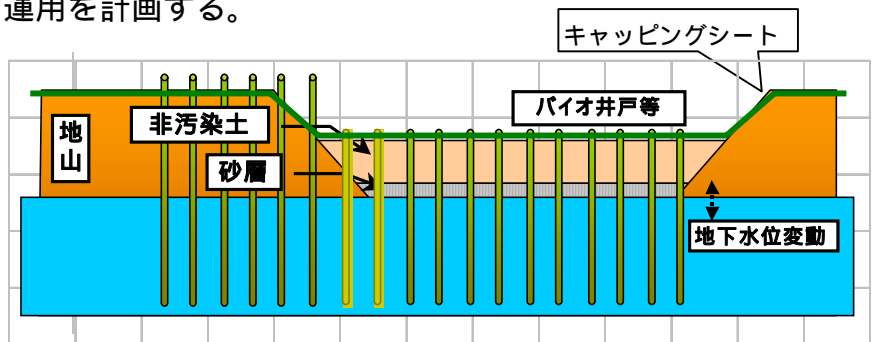
新たに発見されたN地区のドラム缶埋設場所直下の土壌についてはVOC汚染濃度が高いため外部搬出により処理すること。

ホットソイル工終了後のエリアは、飽和帯(地下水位より下の区域)の浄化工事施工(揚水ばっ気+バイオレメディエーション)のため、砂や非汚染土で埋め戻し、キャッピングシートで覆った後、浄化用井戸を設置する予定である。

飽和帯については、汚染区域を特定するとともに、揚水ばっ気及びバイオレメディエーションに係る適応性試験の状況を報告し、今後さらにデータを積み重ね今年度中を目処に浄化井戸の設置方法・運用を計画する。



N地区汚染土壌掘削終了



ホットソイル施工後掘削エリアの埋め戻しイメージ図

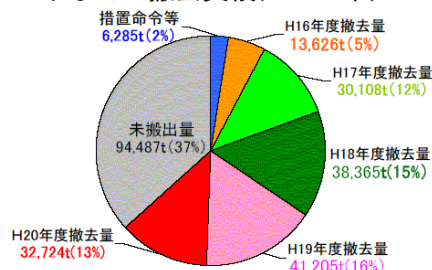
廃棄物の撤去状況について(平成20年11月末現在)

表: 20年度の月別撤去量(代執行)

	撤去量 (トン)	進捗率 (%)
20年4月	136	0%
20年5月	3,755	9%
20年6月	5,407	21%
20年7月	4,160	30%
20年8月	3,742	38%
20年9月	2,450	44%
20年10月	6,818	59%
20年11月	6,256	73%
合計	32,724	

平成20年度撤去目標量 45,000トン

これまでの撤去実績(H20.11末)



岩手県側の推定総量 256,800トンのうち、53% (累積撤去量 162,313t) を撤去しました。